

評価シート（地域用）



あなたの地域の放火火災に対する危険度のチェックシート

以下の質問に答えて、放火火災に対するご自分の住んでいる地域の危険度をチェックしてみましょう。

	質問	回答
1	街路灯の設置状況は、充足されていますか？	はい・ほぼ充足されている いいえ
2	地域内に、消防署や出張所、警察署や派出所などの施設はありますか？	はい いいえ
3	人気の少ない（神社・寺院や重要史跡等）放火されやすい建物がありますか？	ない ある
4	最近、地域内で放火火災が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	発生したことがない 発生したことがある
5	最近、地域内で暴力事件、ひったくり、痴漢等不穏な事件が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	発生したことがない 発生したことがある
6	地域内には、住宅や店舗・雑居ビル等が密集した場所がありますか？	ない ある
7	夜間の不法駐車や乗り捨て自転車など、放火されやすいものが比較的多い地域ですか？	少ない地域である 多い地域である
8	夜間に照明が設けられていない、出入りが容易な駐車場はありますか？	ない ある
9	地域内には、空き家・空きビル・空室等で、違法侵入のおそれのある建物が多いですか？	少ない 多い
10	密集住宅等の隣棟間のすき間は、木戸等で囲うなど、部外者の侵入防止を行っていますか？	はい いいえ
11	店舗等のバックヤードには、柵等の進入対策がなされていますか？	はい いいえ
12	管理が必要な共用施設（体育館・倉庫等）の施設管理は徹底していますか？	はい いいえ
13	放火防止のちらしを作成したり、ポスターや立て看板等を設置していますか？	はい いいえ
14	侵入監視センサー、熱線センサー付き照明器具等の設置を促進していますか？	はい いいえ
15	地域内には、監視カメラ等の放火火災対策機器は設置されていますか？	はい いいえ
16	ごみの集積場所以外にごみが放置される傾向がありますか？	放置される傾向がない 放置される傾向がある
17	ごみ集積場所におけるごみ出しのルールは守られていますか？	はい いいえ
18	新築・増改築工事現場等で、放火されやすい物が放置されていませんか？	放置されていない 放置されている
19	道路面で枯れ草等、放火されやすい危険な場所が放置されていませんか？	放置されていない 放置されている
20	住宅の郵便受近辺に可燃物等が散乱しないよう注意を喚起していますか？	はい・散乱していない いいえ
21	自動販売機の周囲にペットボトルや段ボール等の可燃物が放置されないよう注意を喚起していますか？	はい いいえ

22	地域内の路上で、消火栓上の違法駐車をよく見かけますか？	見かけない 見かける
23	住宅用消火器等の消火具は、地域内で普及していると思われますか？	はい いいえ
24	火災が起こった場合の初期消火方法・通報連絡の手順について、住民に浸透していると思いますか？	はい いいえ
25	街頭消火器や防火バケツは設置されていますか？	はい いいえ
26	消火活動に関する訓練を定期的に行っていますか。	はい いいえ
27	住宅用火災警報器は、地域内で普及していると思いますか？	はい いいえ
28	消防署に、消火器による消火訓練等の依頼をした事がありますか？	はい いいえ
29	消防署などの消防関連機関と連携して、春秋の火災予防運動時等に火災予防運動に取り組んでいますか？	はい いいえ
30	地域内で、回覧板の制度はありますか？	はい いいえ
31	町内会・自治会等で緊急連絡網はありますか？	はい いいえ
32	町内会や自治会等の会合は、2ヶ月に1度程度以上、定期的に行われていますか？	はい いいえ
33	町内会・自治会では、他の地域との防災に関する意見交換を行ったことがありますか？	はい いいえ
34	町内会・自治会では、防災などについて、他の町内会等が行っている方策が、どのようなものかご存知ですか？	はい いいえ
35	消火器等の設置場所について十分な広報を行っているといますか？	はい いいえ・消火器が設置されていない
36	町内会・自治会・商店会・団地等で、放火火災防止に関する話し合いが行われていますか？	はい いいえ・わからない
37	自主防災組織や町内会・自治会等において、犯罪抑止の警戒パトロールを実施していますか？	はい いいえ
38	建物外周部や駐車場等の放火火災危険箇所について、住民・事業所が主体的に確認するよう、働きかけしていますか？	はい いいえ
39	放火火災防止対策は、地域ぐるみの取り組みが有効だと思いますか？	はい いいえ
40	放火火災防止対策に関し、地域住民の意識・関心は高いと思われますか？	はい いいえ
41	地域ぐるみで防災指導会等の活動や行事を定期的に行っていますか？	はい いいえ

全ての回答欄にチェックを入れ終わりましたら、「採点票」を用いて採点してみましょう。 「採点票」へ進む

採点票（地域用）



先ほどの評価シート(地域用)でチェックした回答内容と、下表の回答内容が一致したものが得点することができます。

得点したものについては配点欄に 印を付け、そして、 印で囲んだ得点を中項目ごとに集計してみましょう。

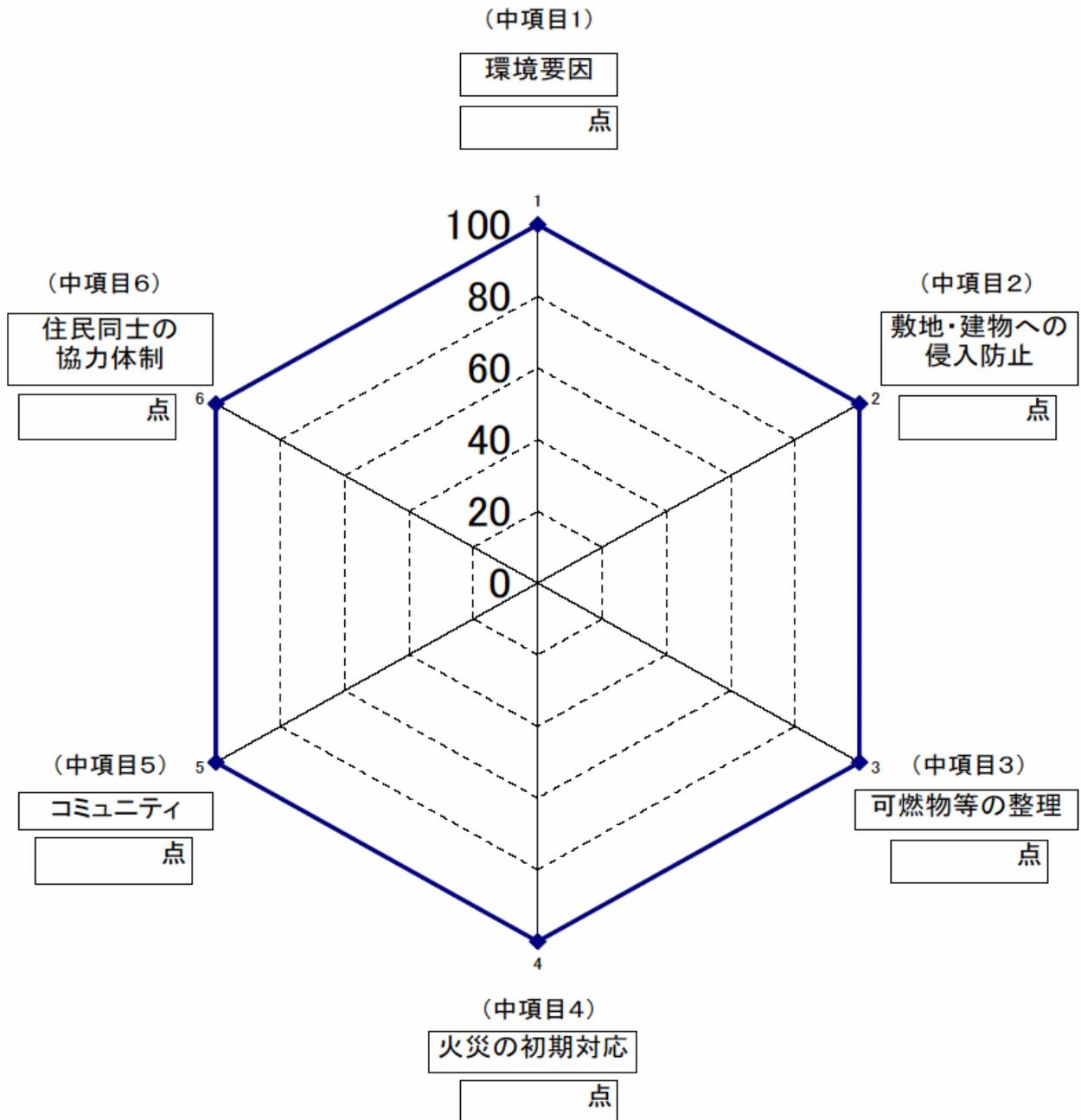
中項目	質問番号（小項目）	回答内容	配点	中項目ごとの合計
1 環境要因	1	はい・ほぼ充足されている	19	点
	2	はい	14	
	3	ない	11	
	4	発生したことがない	13	
	5	発生したことがない	14	
	6	ない	14	
	7	少ない地域である	15	
2 敷地・建物への 侵入防止	8	ない	12	点
	9	少ない	16	
	10	はい	11	
	11	はい	11	
	12	はい	11	
	13	はい	15	
	14	はい	12	
	15	はい	12	
3 可燃物等の整理	16	放置される傾向がない	20	点
	17	はい	15	
	18	放置されていない	18	
	19	放置されていない	18	
	20	はい・散乱していない	15	
	21	はい	14	
4 火災の初期対応	22	見かけない	13	点
	23	はい	15	
	24	はい	16	
	25	はい	15	
	26	はい	16	
	27	はい	13	
	28	はい	12	
5 コミュニティ	29	はい	15	点
	30	はい	14	
	31	はい	14	
	32	はい	14	
	33	はい	15	
	34	はい	14	
	35	はい	14	
6 住民同士の 協力体制	36	はい	17	点
	37	はい	18	
	38	はい	18	
	39	はい	14	
	40	はい	17	
	41	はい	16	

中項目ごとの合計点を記入し終わりましたら、「評価結果票」を用いてレーダーチャートに中項目ごとの合計点を転記し、自己評価してみましょう。 「評価結果票」へ進む

評価結果票（地域用）

あなたの地域の放火火災に対する危険度 評価結果

採点結果票の中項目の合計点をレーダーチャートに転記してみましょう。そして、中項目ごとの合計点の位置を線で結んでみましょう。



得点の低い中項目については「対策集例(地域用)」を参考にして、有効な対策を講じましょう。

「対策集例」へ進む

対策集例（地域用）

あなたの地域における放火火災の防止に向けた対策集例

中項目	対 応 策 の 具 体 例
1. 環境要因	<p>警察等と連携し、警戒パトロールを実施する。 街路灯の整備を行政の担当部署に要望し、明るい道路の実現を目指す。 地域内の一声運動を実施し、不審者への警戒態勢を強める。 不審者に気付いたら、動向を注視する。 放火監視機器等の導入を行政の担当部署に要望し、放火防止に役立てる。 放火監視機器設置済の表示を出す。 一戸一灯運動を実施する。</p>
2. 敷地・建物への侵入防止	<p>空き家等、不審者の進入防止対策について、地域ぐるみの取組みを行う。 警察と連携し、パトロールを実施する。 放火火災防止のパンフ・ちらし・立て看板等の作成配布を行う。 地域に対する広報資料により、放火火災防止に対する警戒心を高める。 侵入監視センサー等の機器導入について、自治会・行政機関の担当者が連携して促進を図る。 放火監視機器等が作動した場合の初動対応について、広報活動を通じて地域住民に周知しておく。 建築工事中の建物への不審者の侵入等に注意する。</p>
3. 可燃物等の整理	<p>地域内のごみ出しのルールを徹底させる。 定期的にごみ集積場所の清掃を行う。 お互いに可燃物を放置しないよう、地域内に呼びかける。 工事材料や廃材等可燃物の整理整頓について、工事責任者に指導する。 放火火災防止の観点から、警察・道路管理者等との協力により放置車両の移動や違法広告物の撤去を徹底する。 郵便受けから新聞やチラシがはみ出さないよう、業者に依頼する。 枯れ草等の出火危険場所は、消防・自治会が協力して関係者に指導する。 不法投棄されたごみについて、清掃事務所等へ撤去を依頼する。</p>
4. 火災の初期対応	<p>警察・道路管理者等との協力により放置車両の移動や撤去を徹底する。 家庭用消火器の設置を推進するよう住民に広報する。 不法駐車禁止等の立て看板等を設置し、消防活動阻害要因の排除を呼びかける。 消火器の使用方法や通報連絡の手順について、自治会等の訓練を通じて住民に指導する。 地域の実情に応じて、街頭消火器の設置を行政に要望する。 消防訓練や講習会により、近隣協力体制の強化を図る。</p>
5. コミュニティ	<p>放火火災予防における地域協力の重要性について、住民の認識を高める。 地域でセミナーや行事を積極的に企画し、地域住民の連携を深める。 旅行等不在時の用心のため、お互いに近隣への声かけ運動を習慣づける。 不審者の動向を注視する等、地域一体的な警戒心を高める。 自主防災組織や町内会・自治会等の連携による放火火災予防対策への取組みを強化する。</p>
6. 住民同士の協力体制	<p>連続放火が発生している場合、消防車のサイレンが聞こえた際、一斉に照明を点灯したり、窓を開けたりする。 放火火災予防における地域協力の重要性について、住民の認識を高める。 地域でセミナー等を積極的に企画し、地域住民の連携を深める。 旅行等不在時の用心のため、お互いに近隣への声かけ運動を習慣づける。 不審者の動向を注視する等、地域一体的な警戒心を高める。 自主防災組織や町内会・自治会等の連携による放火火災予防対策への取組みを強化する。 発災時対応訓練や講習会を積極的に実施し、近隣者による連携体制を強化する。 自治会等メーリングリストで注意喚起メールを出す。</p>